



人口のうごき

昭和60年1月1日現在

住民基本台帳人口	前月に対する増減
男 2,052人	3人
女 2,212人	0人
計 4,264人	3人
世帯数 1,451戸	1戸

消防出初式

1月7日、新春を告げる田代町消防出初式が開催されました。

寒風の吹く中、寒さをものとしめない、ラッパや号令が鳴り響き、消防団員の心意気をおおいに発揮していました。

昭和60年は無火災をめざし、消防団員が「めざましく活躍する」ことのないよう町民皆様の御協力をお願いします。

町県民税申告及び国民健康保険証検認日程表

期 日		午前 9:30～11:45		午後 1:30～ 4:00	
月 日	曜	集 落 名	場 所	集 落 名	場 所
2.16	土	申 告	予 備 日	役	場
17	日				
18	月	下	下 公 民 館	馬場・東/原	馬 場 公 民 館
19	火	西 中 郡	西中郡 "	長 谷	長 谷 "
20	水	東中郡・中村	老人福祉センター	橋ノ口	橋ノ口 "
21	木	山 下	山下集落センター	岩 崎	岩 崎 "
22	金	表 木	表木 "	折小野	小梅枝 "
23	土	山 ノ 口	山ノ口 "		
24	日				
25	月	西 大 原	西大原公民館	東大原	東 大 原 公 民 館
26	火	中 尾	中 尾 "	新 田	新田集落センター
27	水	内ノ牧・重岳	内ノ牧 "	久木野	久木野 "
28	木	申 告	予 備 日	役	場
3. 1	金	所 得 税	確 定 申 告 日	(8:30～17:00) 役	場
2	土	申 告	予 備 日	役	場
3	日				
4	月	鶴 戸 野	鶴戸野公民館	盤山・富 田	盤山集落センター
5	火	池 野	池野集落センター	原 沢	原沢集落センター
6	水	瀬 戸 口	瀬戸口 "	猪鹿倉	猪鹿倉 "
7	木	鳥 瀬	鳥 瀬 "	早 瀬	早 瀬 公 民 館
8	金	郷 ノ 原	郷ノ原公民館	辺志切	辺志切集落センター
9	土	申 告	予 備 日		
10	日				
11	月	上 原	上原集落センター	鶴 園	鶴園集落センター
12	火	上 柴 立	上柴立公民館	柴 立	柴 立 公 民 館
13	水	平 石	平 石 "		
14	木				
15	金	申告予備日			

※ 申告書は正しく記入し提出しましょう。

町・県民税の
申告相談と
国民健康保険証の
検認

町、県民税の申告相談と国民健康保険証の検認を、次の表の日程により行いますのでできるだけ定められた会場においでください。

なお、定められた日に都合の悪い方は、お近くの会場から申告予備日に役場においてください。

また、この日程は、職員の公務（出張等）の都合等により変更することもあります。

で申し添えます。

そのときは、小組合長さんを通じて連絡します。

※ 申告時、持参するもの

申告書、国民健康保険証、印鑑、身体障害者手帳、昭和五十九年中に支払った生命保険料、医療費の領収書、その他所得計算上必要と思われるような帳簿、書類、証明書等です。

交通安全教室開催

去る、一月二十二日田代高校に於いて、単車通学生を対象に、交通安全教室が開かれました。

これは最近、多発している交通事故、特に二輪車の事故防止の一環として実施されたものです。

当日は、県警機動隊鹿屋分駐隊の白バイ隊員四名、大根占警察署から二名、田代駐在所から二名の方々の協力を頂き、単車の正しい乗り方についての基本をみっちり教えてもらいました。

白バイ隊員による、発進、急停止、カーブの曲り方等の



白バイ隊員による模範演技



実技指導を受ける生徒

模範演技の後、校庭に設けられた模範交差点を利用して、オートバイの正しい操作方法並びに、乗り方の指導を受けました。

生徒達は、日頃の運転とは違った点にとまどいながらも熱心に聞き入り、基本の重要さを新たに認識しました。

単車に乗る時は、点検・整備にも心がけ、目先だけではなく、視野を広げ、交通ルールをよく守り運転したいものです。

所得税の確定申告は
正しく、お早めに!!
受付は2月16日～3月15日



昭和五十九年分の所得税の確定申告は、二月十六日から受付が始まります。

申告期限は三月十五日ですが、期限間近になりますと税務署は大変混雑し、長い時間お待ちいただくようなことにもなりますので、申告は早めに済ませてください。

また、申告書を書くときは「申告書の書きかた」や「所得税の確定申告の手引き」を参考に、自分で正しく記入してください。

なお、昭和五十九年度の所得税法の改正により、事業所得、不動産所得または、山林所得のある白色申告者の方は、確定申告書に「収支内訳書」を添付することが義務付けられましたので、ご注意ください。

確定申告をしなければならぬ人

一、商売をしている人や、家賃、地代収入のある人、土地や建物などを売った人などで所得金額の合計が、所得控除の合計額を超える人

二、サラリーマンで、給与の年収が一、五〇〇万円を超える人や、給与以外の所得が二〇万円を超える人などです。

確定申告の特設納税相談

税務署、県、町は合同で次の日程により、所得や税額の計算方法、申告の仕方等各種の納税相談に応じますので、申告は、便利にこの機会を利用してください。

日時 三月一日
午前九時～午後四時
場所 役場会議室

確定申告時、持参するもの

申告書、印鑑、五十九年中に支払った社会保険料、国民健康保険税、国民年金、生命保険料、医療費の領収書、給与所得者は源泉徴収票、その他所得計算上必要な証明書等です。

還付申告は今すぐに

サラリーマンの方は、勤務先で年末調整を済ませると、ほとんどの方は確定申告をしなくてもよいしくみになっていますが、災害を被ったり、多額の医療費を支払ったり、住宅を新築したりした方などについては、一定の要件に該当すれば特別の控除があり、確定申告をすればすでに源泉徴収された税金が返ってくる

場合があります。

この還付を受けるための申告は一月から受け付けられています。確定申告の時期になると混雑しますので早めに申告された方がよいです。

にせ税理士にご注意

この時期には「にせ税理士」が横行します。「にせ税理士」は法律に違反するばかりでなく、納税者に迷惑をかけることが多いので税金について依頼されるときは、正規の税理士であるかどうかは税務署や税理士会にたずねたうえで、安心できる税務処理に心掛けましょう。

贈与税の申告をお忘れなく

贈与税は、一年間に個人からもらった財産の価額の合計額が六十万円を超えるときにかかる税金です。

したがって、昭和五十九年中に個人から六十万円を超える財産をもらった人は、贈与税の申告をしなければなりません。

申告と納税は二月一日から三月十五日までとなっていますが、贈与税についての納税相談は次の日をご利用ください。

日時 二月十五日（金）
午前九時～午後四時

場所 根占町民センター

（大会議室）

納税は納期限内に

税金にはいろいろな種類があり、それぞれに申告期限と納期限とが定められています。税金を納期限までに納めなかったときは、滞納となり本税のほか延滞金も納付しなければならぬこともありますので、税金は必ず納期限内に納めましょう。

ところで、所得税の納税の方法として、振替納税の制度があるのをご存知でしょうか。この制度は、銀行、信用金庫、信用組合、農協などの預金口座から振替により自動的に納税する方法ですから、納期限に遅れることもなく、また、納税の手数も省けて大変便利です。

まだ利用されていない方は是非利用するようにしてください。

なお、以上のことでおわかりにならないことがありましたら、鹿屋税務署か田代町役場の税務課におたずねください。



楽しかったたこ上げ大会

暖かだった冬が、年が明けると急に寒くなりました。一月十四日の月曜日は、朝からどんよりと黒い雲から小雪がちらつくあいにくの天気でしたが、大原小学校では全校児童六十八名による凧あげ大会が行われました。

子ども達は、久しぶりに降る雪に大はしゃぎしながら、自作の凧を手にして外へとび出しました。

学校から少し離れた立神の田んぼに着くと、それぞれの位置に陣取って走り回ります。かねては半袖、半ズボンの子ども達が、今日ばかりは防

教育だより

たこ上げ大会 大原小学校

寒服装で勝手が違うようです。それでも凧をあげようと懸命です。手作りの凧は、クルクル回って墜落したり、地面を引きづりまわされたりしてなかなかうまくあがってくれません。

そんな中でさすがに経験豊富な六年生のあげる凧はよくあがっています。あがりすぎて糸が切れたものもありました。わが子の様子を見にきていた父母の中で、自分が手伝った凧だけに、首をひねりながら補修している姿も見かけられました。

市販の凧でなく、父母と苦労して作りあげた凧をあげる子ども達の顔は晴ればれとして本当に楽しそうでした。

大会後の反省で「来年こそは」と、子ども達の夢はもう来年にとんでいました。

持久走大会にそなえて

連続氷点下を記録する大原ですが、七時四十五分になると、子どもたちの自主活動と自主マラソンが始まります。一月二十二日現在、かぜをひいている児童は十二名です。これからもしばらく、寒い



日が続くことでしょう。寒さに負けない強い体と心を育てるために、子ども達に声援を送りたいと思います。

半袖、半ズボンの子ども達の鼻の頭や指先は真っ赤です。大原小では「強く正しく美しく進んでやろう最後まで」の合言葉で、師弟同行の毎日を送っています。かぜによる欠席者がでることのないよう頑張りたいものです。

**古切手を集めて三年目
大原中学校**

本校生徒会では、活動の一環として使用済み切手を集めて三年目になりました。五〇〇枚で注射一本分という微々たるものですが、自分たちでできることを」ということでJRCを通し、全校生徒の善意を届けようということが続けています。

玄関と職員室の二カ所に箱を設置。年二回整理し、係りの先生から鹿児島支社に届けられています。

アフリカ難民へ、あるいは伝染病で苦しんでいる人たちへ、自分たちの心が届けられているという生徒一人一人の心は、やがて成人し、社会への奉仕の精神へと育っていく

と信じます。

◎二つの全国展入賞(俳句)

第二十三回全国小中学生俳句大会(炎天寺一茶まつり)に今年も出品、十一万九千句の応募の中から次の三点が入選しました。

〇くちなしのにおいの上に
一年 夏が来る
坂口美智代

〇青とんぼ夕日を連れて
二年 寄ってくる
山脇ひとみ

〇つつじ咲き五月の花壇を
三年 ひとりじめ
浜川 利

第十五回全国学生(小)大挙俳句大会に昨年は鹿児島県より入賞なし。今年は川内高校生、鹿児島予備校生と本校の井手口さん三名が入賞しました。

〇ふく風もほほに干本
一年 霜の朝
井手口美由紀

◎基礎学力をつける努力

「生徒が学習に燃えないのはなぜか」昨年四月職員研修でそのことに絞って考えた。意欲がないのではない。み

んな発表したがっている。わかったがっている。しかしなぜ発表できないのか。わからないのか。難しい問題だが一つの方角から実践することにした。

この問題を引き起こしているものに基礎学力不足がある。九九ができれば、分数ができれば解決できる。数学科でこの最も基本的なことから手がけた。「今さら小学生の解くような問題を」と思われたがここからスタートした。毎週水曜日、職員朝会を廃止。その時間の10分間に基礎テストの実施。類似した問題を事前に学習、理解させておく。同時に生徒どうしの助け合い学習も行なわせる。

昨年からはじめて、今年まで国数英の三教科を交替で実施してきた。少しずつではあるが成果は確実にあがってきている。授業に真剣にとり組むようになった生徒の手ごたえを感じている。

オリエンテーリングに参加しよう

あすの田代をつくる町民運動推進協議会では、自然に親しみ判断力を養うために家族や地域ぐるみのオリエンテーリング大会を開催します。

健康だより

「もつとおふくろの味を」

「あなたにとって、おふくろの味と言うと何を思い出しますか。」という質問をしてみると、「味噌汁」とか、野菜の煮しめ・肉じゃが、などと言う返事が返ってくる。

これらの料理は、時には食塩が多すぎるという欠点はあるが、一方で野菜が多く、植物繊維を多く含んでいる。

また、最近の母親の料理と言えば、ハンバーグ、カレーライス等学校給食の好きな献立になっている。

給食で嫌いな献立には、煮つけ、煮豆、キンピラ、酢豚等があげられている。

この様な結果は、母親の作った献立の影響によるものと考えられています。

そしてこの事は、二つの意味があります。

一つは、洋風食が増えて、子

供達の血清コレステロール値を高くしている事。もう一つは、柔らかい食事が多い為に歯とアゴ関節の成長がおかしくなっている事です。

最近の子供達に不正咬合をみる事が多くアゴが前に出た反対咬合も多い。

これは、子供達が給食で野菜サラダを嫌いな物にあげ、四〇％の子供が食べ残す事と関係しています。

アゴの発育は幼児期に与えられた食物の影響が大きいとされ、かみごたえのある野菜等の食事を多く与えられるとアゴが発育するが、柔らかい物ばかり与えられていると、アゴの発育が不十分になってしまいます。生えてくる歯の大きさは一定の為、歯が横を向いて生えたり、二重に生えたりで、かみ合わせが悪くなってしまう。

夕食の仕度が、十五分以内でできるという主婦の作った

料理では、インスタント食品を多く使い、つけ合わせの野菜が少なく、カルシウムとビタミンBが不足し、植物繊維も足りません。

植物繊維が不足すると、アゴが育たないだけでなく、コレステロールも中性脂肪も高くなり、又、植物繊維は便秘を防ぎ、発ガン物質を吸着する為、大腸ガンの予防にもなり塩分を体外へ排泄する役目もします。

インスタント料理ばかりでなく、キンピラゴボウ、野菜の煮つけ、煮豆、ひじきのいため物、サラダ等手作りの味、おふくろの味を、冬のひととき家族そろって味わう食事こそ、健康面ばかりでなく、心の豊かさにつながるものだと思います。

年の始めにあたり、今年こそはの気持ちで、大切な食事を考えてみたいものです。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

篤志寄附金

田代町社会福祉協議会

さきに御逝去されました御遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の御寄附を賜りました。厚く御礼申し上げますと共に御冥福をお祈りします。

田原 光 夫様
白挑 普 様
表木 久 様
小路 勝 様
押越 照 様

先輩と語る会

—鶴園—

協会の会長を務められ、文字どおり県美術界の第一人者で現在もご健健で創作活動を続けておられます。ご寄贈いただいた絵は、先生がヨーロッパにスケッチ旅行された折に描かれた「フロレンスの丘」(イタリア)という題の六十号の油絵です。このたび田代の子どものために、ご寄贈いただきました。田代中においでの際はぜひご鑑賞ください。

大きな希望を胸にいただき鶴園集落の青少年たちが新年早々、先輩の教えに耳を傾けました。松の内にあたる一月二日午前十時より十二時三十分まで、鶴園公民館で鶴園高等学校生と子ども会主催による先輩と語る会が開催されました。

この会は、八年まえ県青少年育成推進指導員である久保幸雄先生(現在寿北小勤務)の発案で開かれ、現在では正月の楽しみのひとつであり、子どもたちに夢と希望をはぐくんでくれる行事となっています。

この行事は、ふるさとを離れ異郷で頑張っている先輩た



先輩を囲んで記念撮影



下集落の収集活動

民俗文化財を大切に!!

田代の民俗文化財を守るために一月二十二日、町文化財保護審議会では大根田地区の馬場、下、東原集落の民俗文化財の資料収集を行いました。この資料収集は、昔の人々が日常生活に使っていた古い日常の生活用具、生産に使用した道具類を収集し保存しようとするものです。

鶴園子ども会は、二月に開催される県社会教育大会で全国子ども会連合会より優良子ども会として、表彰されることになっています。この表彰も今までの先輩の方々の努力の成果だと思えます。町内の各地でこのような行事が開かれ故郷を大切に心身ともにたくましい青少年を育てたいものです。

町奨学生募集

昭和六十年度田代町奨学生募集要項が次のように決まりました。希望される方は教育委員会まで申し出て下さい。

1. 趣旨
この奨学制度は学業及び人物がすぐれているにもかかわらず、経済的理由によって修学が困難な学生に対して学資金の貸与を行い、もって本町教育の発展をはかるものである。

2. 奨学資金の種類、貸与月額
高等学校(各種学校) 自宅 6,000円
奨学生 6,000円

3. 応募の資格
田代町に住所を有する者の子弟で、昭和60年4月に大学校及び高等学校等に入学しようとする者で、次の(1)(2)の要件を備えている者
(1) 勉学に努力し品行が方正であること
(2) 学資の支弁が困難と認められること

4. 貸与及び返還
貸与の期間 大学校、高等学校等の正

5. 提出書類
(1) 奨学願書
(2) 在学証明書(入学後)所得額証明書
(3) 戸籍抄本又は住民票推薦調書

6. 申請の手続き
前項の提出書類を作成の上、教育委員会へ2月末日までに提出するよう提出すること。

7. 選考の方法
教育委員会にて選考する

8. 採用予定者の決定及び通知
昭和60年3月末日採用予定者を決定し、本人に通知する。

お問い合わせ先

田代町教育委員会
TEL 2511
(内線 54)

広報たしろ

第23回 町教育研究会



研修報告に熱心にメモをとる先生

歴史を誇る町教育研究会が一月二十四日開催されました。この研究会は年度始めに決めた研究テーマに基づいて実践研究した結果を持ち寄って相互に研修を深める機会として実施されているものです。田代の子どものための教育・

成人式

昭和六十年成人式が一月三日(木)、町開発センターで

厳粛且つ盛大に開催されました。新成人は、昭和三十九年四月二日から翌年の四月一日までに生れた子どもで当時の世相は、日本経済の高度成長時代の真つただ中で東海道新幹線の運転開始、東京オリンピックが開催された年でした。県下では、一九三〇六名が成人を迎えました。

本町は一〇九名が新成人の該当者で全国各地から八十八名が参加しました。広報たしろで紹介したように冠婚葬祭などの簡素化運動推進のため、晴着・袴等の参加はご遠慮していただくようお願いしました。この新成人、ご父兄をはじめ町民各位のご理解を得て全員平服で参加をしていただきました。

昭和60年度教育モニター募集

◎応募資格

文部省では、政府の文教政策について、広く国民から意見、要望等を聞き、文教行政の参考とするため教育モニターを募集しています。

◎応募資格
教育についての関心があり、教育モニターとしての仕事に熱意をもっての満二十歳以上の日本国民、ただし、議会議員常勤の公務員(校長及び教員は応募できる)、行政



フォークダンスに興じる新成人

の人生の在り方や豊富を発表しました。最後は、久しぶりに会った友と心のふれあいを深めようと田代中学校、前田先生の指導で楽しいフォークダンスを踊り、今後の活躍を確かめました。

政相談員 過去に文部省教育モニターであった者は応募できない。

◎申し込み用紙の請求
六十円切手を張った返信用封筒(あて先明記)を同封して、二月二十三日(土)まで左記へ申し込み下さい。

〒892
鹿児島市山下町十四一五
県教育庁総務課広報係
上石田先生
油絵を寄贈



フロレンスの丘

本町池野出身で、以前田代中学校に勤務されたことのある上石田哲夫先生が、先日油絵の大作を田代中学校に寄贈してくださいました。先生は永年にわたり県美術

去る一月五日、高校学生会主催による青少年ふるさと大会が開催されました。当日は午前七時半、新春クリーン作戦で、上部、川原、花瀬、大原の五地区にわかれそれぞれの地区の神社や道路などの清掃活動に汗を流しました。午前九時から会場を町開発センターに移して卒業生を送る会が開かれました。存学生から卒業生へ送る言葉が送られ、次に卒業生代表落合和人君、馬込みどりの二名が『これまでの高校学生会活動を振り返って』と題して、あいさつがありました。

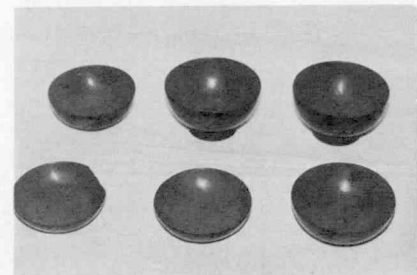


お礼を述べる卒業生

青少年ふるさと大会 —高校学生会—

「卒業生から一言」
馬込みどり
早いものでもう三年が過ぎ今まで送る立場が送られる立場になってしまいました。一年の時から学生会で活動できたことが、私たちのさまざまな交流の場となったとともにふるさとを考えるよい機会を与えてくれたのではと感謝の気持ちでいっぱいです。就職が決まりふるさとを出てゆく私としては、今までの経験がとても貴重なことに思えてなりません。研修などを通じて他の地域の高校生との交流、町のスポーツ大会などで忘れかけていた友との交流、地域の美化活動、どれ一つをとってもすばらしい体験でした。後輩のみなさんには、これからがんばってもらい、この学生会を盛りたててもらいたいと思います。私も田代町の一員として恥ずかしくないように社会に出てからもがんばります。

続いて十時から、南方圏交流センターの加藤憲一先生にお願いして『からいも』という演題で講演会がひらかれました。先生の体験にもと



中野さん宅の田代柿

一五七五年(天正三年)、三月豊臣秀吉が紀州の根来寺を攻め討ったとき、僧徒の逃れた者が田代に住みつき朱柿を作った。

シリーズNo.2 田代の文化財 田代柿(根来柿)

この『ふるさと大会』を通して生徒諸君は、勉強やスポーツに励んでくれることと思います。

その後は、交歓レクリエーションとしてバドミントン大会が行われ、楽しいひとときをすごしました。

ついた非常にユーモラスな話し方に、生徒たちも自分の生き方と照らし合わせ楽しく聞き入っていました。この講演会で生徒たちの視野も広がったようです。

シリーズNo.2 グループ紹介
二十日会
町内の土木、建築、製材所、食料品店などの経営者の奥さん達の学習グループです。世話係に中島千里子(東中郡)と山下とよ子さん(上原)がなり毎月二十日に集まって経営者の妻の在り方や社会人として



朱は、川原大谷山及び山下より取った。柿の大きさは、大柿が内径十四五センチ、中柿十三五センチ、小柿十三センチで大中小二組の柿が現存している。

別名を根来柿といい、大隅地方では紀州柿(キジュ柿)ともいう。

中野みちえさん宅(西大原)に保存されているほか、鹿児島市の尚古集成館にも現存している。



て、教養を高める目的で昭和53年6月に結成されました。名称は毎月二十日に例会を開くので二十日会と名づけられました。

今までの活動として身近な問題である税金や年金、行政や経済のしくみなどを学習しました。

また、奉仕活動として例会の時一人三十円以上寄付を集めて、町社会福祉協議会を通して恵まれない方々へ義援金として寄付をされています。

今後お互いに経営者の主婦として夫を助け、地域のために奉仕しようと努力されています。今後の活躍が期待されます。

郷ノ原・中村 子ども会表彰

去る一月三十日(水)、鹿屋市中央公民館で、肝属地区朝読み夕読み運動推進大会が開催されました。この大会は、地区内の朝読み夕読み運動の推進策について話し合い読書活動の一層の充実をはかるために開かれました。大会において、本町の郷ノ原子ども会が朝読み夕読み部門で、中村子ども会が花いっぱい創作活動部門で優良子ども会として表彰されました。



夕読みをする尾長谷君(田代小6年)

中村子ども会は、昨年の十一月後期青少年団体育成者研修会で育成会長さんから活動内容を発表していただきました。子ども会員と育成会員が協力して集落内に花だんを設置し、四季を通して花が咲き充実した子ども会活動が展開されています。



花うえをする中村子ども会

最初は、はずかしがっていた子ども達も今は順番が来るのを楽しみにしています。また、各家庭では子どもたちの読書放送を楽しみにして一日の生活日課となっていています。他の子ども会も放送施設を使って読書活動を続けてみましょう。

国際青年年 IYY

今年、「国際青年の年」IYY International Youth Yearこれは一九七九年の国連総会において決定され、テーマは「参加・開発・平和」です。二十一世紀の社会は、人口の増加、環境や資源のことなど人類生存の危機に係る問題に直面するだろうといわれています。国際青年の年が設定された背景には、大人中心の発想では解決できない課題が残っている、これからは若い人たちの知恵と情熱しか未来社会は築けないのではないかとこの考えが世界的に高まってきたという事情があります。

国や県でも「国際青年年」推進委員会を設置し、青年の自発的参加のもとに、各種事業の円滑な推進が図られると思います。

ところで、国際青年の年のテーマは「参加・開発・平和」ですが、要約すると「青年が



IYYにふさわしい
第3回体力づくりマラソン大会

地域社会の構成員として主体的に参加することが、より平和で豊かな社会を実現することになるといえるそうです。具体的には、青年自身や青年団体、各種グループが、社会のさまざまな分野でどのような課題に主体的に取り組むかということになります。

本町では、国際青年の年々を機会に青少年の健全育成のために次のようなことを中心

- ①青年団体の組織の充実
- ②町内の職場、グループ、サークルの連携協力の促進
- ③子ども会、高校学生会、高齢者クラブへの援助活動の促進
- ④ボランティア活動の促進
- ⑤からいも交流を通して国際理解・国際交流の促進

あなたもボランティアになれます

「国際青年の年」推進協議会では、国際青年の年を記念してボランティアを募集しています。「国際青年の年」を英語の頭文字で「IYY」と略されます。このIYYバッジを普及販売する仕事です。

この販売代金は、アフリカ飢餓救済に当ります。アフリカは、三年続きの干ばつで食料不足で五〇〇万人以上の子どもが死亡しました。

ボランティアを希望する人グループは、①住所 ②氏名 ③電話番号 ④年齢 ⑤所属団体または勤務先・学校名 ⑥バッジの販売予定数(一個二〇〇円、最低販売数は一〇個)を明記のうえ、ハガキで応募して下さい。

◎ボランティアの応募先 〒151 東京都渋谷区代々木神園町三一(社)青少年育成国民会議内「国際青年の年」推進協議会 IYY バッジ係



スポーツの日 毎月第三日曜日

田代町では、生活の中にスポーツ・レクリエーションをとり入れ健康で明るい生活がおくれるように、毎月第三日曜日を「スポーツの日」と定めました。

この日は、県が定めた家庭の日で具体的な実践活動として家族ぐるみ、地域ぐるみでスポーツ・レクリエーションを実践し、家族間のふれあいや地域社会の融和と連帯感づくりを進めていただきたいと思ひます。

実施期間

昭和六十一年一月～十二月
実施にあたって

- ① 家族を原則としますが、小組合・婦人会・子ども会などのグループの活動として実施する方が望ましい。
- ② 原則として、毎月第三日曜日に実施する。家族でする場合短い時間でもよろしいです。毎日実施していただきたいと思ひます。
- ③ 活動内容は、家族やグループ、年齢に応じて実施して下さい。例えば、ジョギング、縄跳び、ゲートボール、ボール遊び、散歩、山登り

サイクリング、ハイキング釣り、山菜とりなど。

- ④ 実践カードに記入して、十二月末までに教育委員会へ報告して下さい。

表彰

年間を通して実践された家族やグループには、実行賞と副賞をさしあげます。

また「広報たしろ」に掲載して町民の励みとします。

提唱

あすの田代をつくる町民運動推進協議会・町体育協会・町教育委員会

◎ スポーツの日実践カードを各家庭に届けましたが、足りない家庭は小組合長さんか、教育委員会で受け取して下さい。

学林地で汗を流す

大原緑の少年団

大原緑の少年団（団長大浦地剛君、大原六年）は、去る一月十九日、大原小、中学校の学林地の下払いを実施しました。

緑の少年団は、田代の財産である森林資源を大切に、草木や花を育てることを愛する心を育てるために昭和五十六年十二月、学校の先生や地区の人たちの協力で結成さ



汗を流し学林地を離れる団員

れしました。今まで学校や地区の美化活動、花の植えつけをはじめ始良町で開催された全国植樹祭に参加して自然の尊さを学びました。

現在、大原小学校四年生から大原中学校一年生まで五十二名が団員として活動しています。

当日は、赤崎先生や育成者四十名に引率されて大原小から内の牧までの四キロメートルを歩きました。

途中道ばたの草花を観察し、学林地では、後輩のため下払いに汗を流しました。

今後、皆んなの力で世の中の人たちのためになる活動をしていきたいと思ひます。

油木田さん(表木出身) 県下一周駅伝大会に出場



本県駅伝大会で最大行事のひとつである第三十二回県下一周市郡対抗駅伝競走

大会が来る二月九日（土）から十三日まで五日間の日程で開催されます。

本町から油木田徳男さん（表木出身）が肝属地区チームの選手として出場します。

油木田さんは、中学校、高校時代スポーツ万能で昭和五十二年三月南大隅高校田代分校を卒業し、現在国分陸上自衛隊に勤務されています。

去る一月十四日に開催された南日本10キロロードレースでは肝属地区チームの中で第九位（三十三分七秒）の成績で出場が決定しました。

当日は、十キロを三十二分代の記録で力走できると思ひます。町民の方々の声援をお願いします。

新春 バドミントン大会

新年をかざる町バドミントン協会主催の新春バドミントン大会が去る一月六日（日）、大原中学校体育館で開催されました。

成績はつぎのとおりです。

一般の部

優勝 柳田 学（盤山）

第二位 藤崎和代（麓住宅）

山田道代（南大隅一年）

ファミリーの部

優勝 山田栄 一・修 一

第二位 鶴田ヨリ子・真紀

第三位 中島ひろ子・美智代

フレンドの部

優勝 那須一成（大原中三年）

第二位 木村利恵（大原小五年）

第三位 釘田健一（大原小五年）

益田 剛（ ）

県下一周駅伝選手を招いて 第三回町民体力づくりマラソン大会

町民の健康づくりを目的とした第三回町民体力づくりマラソン大会が一月二十七日（日）中央運動場を中心に一七〇名が参加し盛大に開催されました。当日は県下一周駅伝大会肝属チーム三〇名も参加し大会に花を添えていただきました。大会は、三キロと五キロコースに分れて日頃の健脚を競いあいました。

体力づくりとあって子どもの手を引いて走る人、歩く人もあり和気あいあいのうちに終了しました。

今後は、たくさんの方々が参加していただきたいと思ひます。

3K男 一位 近川正人、二位 徳永

芳美、三位 牧大綱

3K女 一位 大寺ゆかり、二位 小

園利江、三位 益田ひとみ

5K 一位 宮園守、二位 原口末

広、三位 原口良一